

ごあいさつ

第6回全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと大阪大会

6回目のみんなねっと全国大会を大阪で迎えるに際し、ご挨拶申し上げます。

ここ数年の障害者制度改革の動きの中で、私たちは学習したことがあります。それは私たちが声をあげることが大切だということです。声の大きい人の意見が通りやすいことを経験しました。精神障がい者とその家族はまだ偏見社会に生きていて、なかなか声が出せず生活しているのが現状です。今回の制度改革の概念には、障害者も健常者と同じように地域で暮らす権利があると謳われました。

まずは偏見のない社会を作ることが求められています。精神疾患に関しては、近年の研究にはめざましいものがあります。副作用の少ない薬の開発は、精神障がい者の社会参加を促進させています。また、精神障がい者のための制度も作られ、徐々にではありますが、回復への環境が作られてきています。本人自身も隠さない生き方をするようになってきました。就労の場でも、適切な支援を受け、精神障がい者が生き生きと仕事ができるようになってきました。このように、一昔前とは状況が変化しています。私たち家族の考えも変えていかなくてはならないと思います。偏見とは誤解から生じると言われます。精神障がい者の正しい理解を広め、偏見をなくするのは私たちの役割だと思います。隠すことなく生きていくことです。

一方で、私たちの望むことは本人の自立です。自立とは必ずしも仕事をして収入を得ることではないと思います。日常生活を一人でやれることが大切です。そのための支援策が必要で、それは制度化されなくてはなりません。24時間の相談支援、訪問型の支援など、家族会としてはこうした支援を強く要望しています。高齢化した家族が本人を支えるには限界がきています。家族に依存しないで、社会が精神障がい者を支えることが家族会の長年の願いです。

必要な制度を充実させるために、これからはさらに声を大きくして実現に向かっていきたいと思います。

公益社団法人
全国精神保健福祉会
理事長 川崎 洋子



大阪大会の開催にあたって

ごあいさつにあたって、全国から多くの家族と関係者が、第6回全国精神保健福祉家族大会（みんなねっと大阪大会）へ参加されることを期待し、また、お願いしたいと思います。

今回の大会では、1日目は、シャイアーズさんによる「特別講演」と藤井克徳さんによる「基調講演」により、全国の家族が、その想いを共有するとともに、今後の展望についても深めることを願っています。

2日目は、6つの分科会において、それぞれのテーマについて全国の家族・当事者の経験を柱にして、交流を深める場にしたいと企画しました。各分科会のコーディネータの個性あふれる進行も楽しみです。また、菊山先生の「特別講座」は、基調公演にも位置づけられるものですが、特に第7分科会として設定しました。

次に、大阪大会に参加される会員の皆様へのお勧めは、関西の歴史と自然の資源に触れ、気分も新たに旅を楽しんで頂くことです。2日目の午後の時間または1日余分に時間を取って、お出かけください。『学びとともに素敵な旅を！』

最後に、ターミナルから大会会場へのアプローチについて、「ちょと一言」。大阪は交通至便の地ではありますが、初めての方や比較的高齢の方が移動するには、乗り換えなどで難儀される場面も多いかと思われます。例えばJR新大阪駅からは、いろんなルートが考えられますが、残暑厳しい9月でもありますから、2、3人の相乗りでのタクシー利用もお勧めです。

社団法人
大阪府精神障害者家族会連合会
会長 倉町 公之



開催要項

～ 家族支援の実現と精神保健福祉の向上を！ ～

趣 旨

昨年11月、茨城県つくば市で開催された第5回全国精神保健福祉家族大会において、佐藤純氏による講演「私たちの求める家族支援」を聞き、改めて私たちは、家族の置かれている現状と課題、その解決への方向を学びました。

その中で語られたイギリスにおける精神保健医療改革には、私たちの求める社会による家族支援が実現されています。わが国における家族支援をより現実的なものになりたい、そういう思いから、本大会には、特別ゲストとしてイギリスからデイビッド・シャイアーズ医師をお迎えすることとしました。

娘さんの統合失調症ケアの悲惨な体験を声に出し、十数年前から、イギリスの精神保健医療の改革を推進した同氏に、イギリスにおける家族支援の実際について講演していただきます。

この数年間、障がい者制度改革推進会議などにおいて、障害者制度改革の論議が重ねられ、その中で私達は、精神保健福祉の現状と課題について認識を深めることが出来ました。その後、障害者基本法の改正、障害者総合支援法の制定等ありましたが、昨年末の政権交代により、今後、障害者制度改革がどのように推移するかは分かりません。

今大会では、これまでの論議で明らかになった精神保健福祉の現状と課題について再度整理して、共生社会の実現につなぐものになりたいと考えます。この観点から、前障がい者制度改革推進会議議長代理として、これまでの審議・検討をリードされてこられた藤井克徳氏に、精神保健福祉の現状と課題について基調講演をしていただきます。

西の中心地大阪に多くの人が集い、大いに議論を積み重ねましょう。当事者や各障害者などがこれまで培ってきた大阪らしさ、関西らしさを盛り込んで、実りある楽しい大会を目指してまいります。

また、近郊には、歴史と自然に恵まれた観光資源も多数ひかえています。
学びとともに素敵な旅を！ 全国から多くの皆さまの参加をお待ちしています。

- 主 催 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会
社団法人大阪府精神障害者家族会連合会
- 会 期 2013年9月9日(月)・10日(火)
- 会 場 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

